

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2018-123244 (P2018-123244A)

【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2018-030

【出願番号】特願 2017-16771 (P2017-16771)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/36 (2014.01)

C 0 9 D 11/38 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 9 D 11/322 (2014.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/36

C 0 9 D 11/38

B 4 1 M 5/00 1 2 0

B 4 1 J 2/01 5 0 1

C 0 9 D 11/322

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 20 日 (2020.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

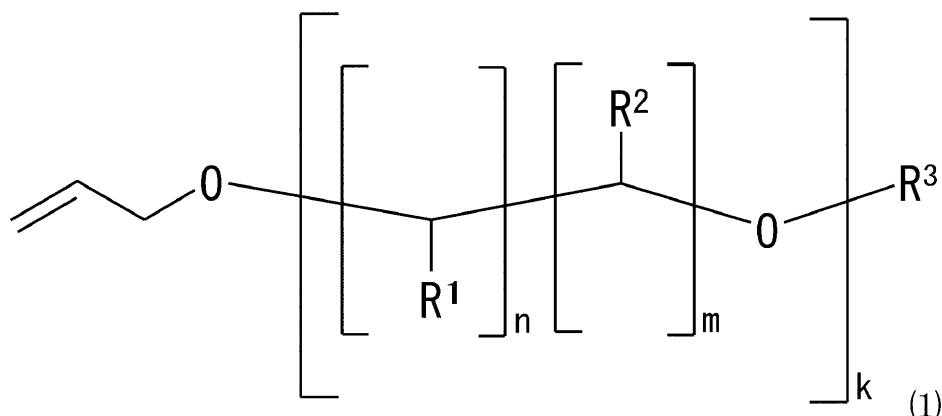
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

油性媒質と、色材とを含み、

前記油性媒質として、下記式 (1) で表されるアリルエーテル、トリエチレングリコールアリルメチルエーテル及びジエチレングリコールアリルブチルエーテルからなる群より選択される少なくとも 1 種のアリルエーテルを含有する、インクジェット記録用油性インク組成物。

【化 1】



(式 (1) 中、 R^1 、 R^2 は、各々独立して水素またはメチル基を表し、 R^3 は水素また

はアリル基を表す。k は 1 ~ 4 の整数を表し、m および n は、 $m + n \geq 3$ を満たす整数を表す。)

【請求項 2】

前記アリルエーテルの含有量が、前記油性媒質に対して 30 質量% 以上である、請求項 1 に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 3】

前記アリルエーテルを構成するアルキレングリコールの沸点が 240 °C 以上である、請求項 1 または請求項 2 に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 4】

前記アルキレングリコールとして、ジエチレングリコール、トリエチレングリコールおよびテトラエチレングリコールからなる群より選択される少なくとも 1 種を含む、請求項 3 に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 5】

前記アリルエーテルが、ジアリルエーテルである、請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 6】

前記色材が、顔料である、請求項 1 ないし請求項 5 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 7】

前記油性媒質として、極性有機溶剤を含む、請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。

【請求項 8】

さらに、金属錯体および脂肪酸金属塩からなる群より選択される少なくとも 1 種を含む、請求項 1 ないし請求項 7 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録用油性インク組成物。